

MIDAS GEN NX

ADVANCING
TECHNOLOGY
SHAPING
THE FUTURE



MIDAS GEN NX

無限の可能性のはじまり。

MIDAS GEN NXは、単なる機能追加ではありません。
エンジニアリングの新たなパラダイムを提案します。
あなたのアイデアが、MIDAS GEN NXの明日を創ります。

MIDAS GEN NX - [C:\Users\ogita\Desktop\業務作業用\GEN NX開発\リリースセミナー関係\デモ資料\パーツ\梁要素の最大値抽出\鉄骨断面自動算定_v1.0] - [MIDAS GEN NX]

プロジェクト表示構造節点/要素材料/断面境界条件荷重解析結果増分解析設計照会Apps

表示視点移動ズーム回転登録平面キャプチャー施工ステージビューオプション

ディスプレイ隠線除去表示透明度レンダリングオプション

アクティブ全てアクティブ

選択選択解除

グリッドス

表示ディスプレイアクティブ選択グリッド/ス

ツリーメニュー

ツリーメニュータスクペイン

メニューテーブルグループ作業報告書

Search

作業

構造

層 7

節点 180

要素 344

登録平面

X1

X2

X3

X4

Y1

Y2

材料 & 断面

材料 3

断面 26

境界条件

支持条件 12

剛体連結 16

質量

荷重を質量に変換 2

静的荷重

静的荷重ケース 1 [DL ; 固定荷重]

静的荷重ケース 2 [LL ; 積載荷重]

静的荷重ケース 3 [WX ; X方向 風荷重]

静的荷重ケース 4 [WY ; Y方向 風荷重]

静的荷重ケース 5 [EX ; X方向 地震荷重]

静的荷重ケース 6 [EY ; Y方向 地震荷重]

静的荷重ケース 7 [SL ; 積雪荷重]

静的荷重ケース 8 [LL(forE) ; 地震荷重]

静的荷重ケース 9 [SL(forE) ; 地震荷重]

完成度の高いスタート

MIDAS GEN NX

直感的な操作性、圧倒的な業務効率

エンジニアのためのデザイン： Smarter, Faster, More Intuitive

実際の作業環境において、エンジニアがより快適かつ直感的に作業できるよう、細部に至るまで徹底的に改良しました。

ユーザーフレンドリーなUI/UXにより、業務効率と生産性をさらに向上させます。

740 : RZ45

741 : RZ46

742 : RZ47

743 : RZ48

744 : RZ49

745 : RZ50

746 : RZ51

747 : RZ52

748 : RZ53

749 : RZ54

750 : RZ55

751 : RZ56

752 : RZ57

753 : RZ58-67

754 : RZ68-UP

755 : RZ68-DOWN

756 : RZ1-UP

757 : RZ1-DOWN

758 : RZ2-UP

ツリーメニュー カラー・カスタマイズ

ツリーメニュー上で材料/断面の色をカスタマイズでき、モデル確認および編集作業の視認性と操作性を向上させます。

メッセー・ジウインドウ

線要素-355

6000, 10500, 15750

6000, 10500, 15750

N:

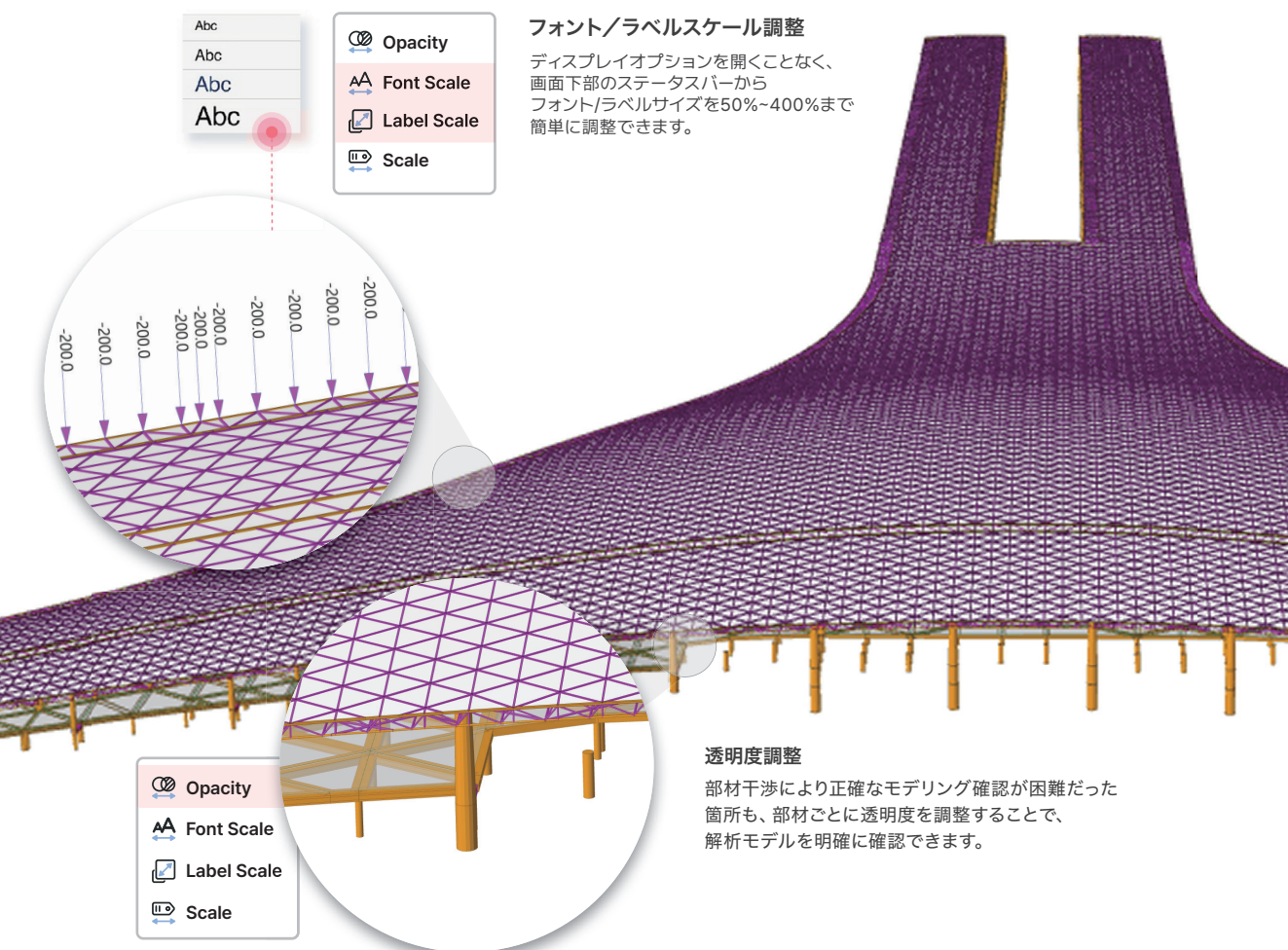


Abc
Abc
Abc
Abc

- Opacity
- Font Scale
- Label Scale
- Scale

フォント/ラベルスケール調整

ディスプレイオプションを開くことなく、画面下部のステータスバーからフォント/ラベルサイズを50%~400%まで簡単に調整できます。



透明度調整

部材干渉により正確なモデリング確認が困難だった箇所も、部材ごとに透明度を調整することで、解析モデルを明確に確認できます。

MIDAS API

あなたが創る、無限の可能性

あなたのアイデアが、MIDAS GEN NXの新たな機能になります。

MIDAS GEN NXのAPIは、単なるプログラム連携にとどまりません。
独自のカスタム機能を自ら構築できる、高い自由度と拡張性を提供します。

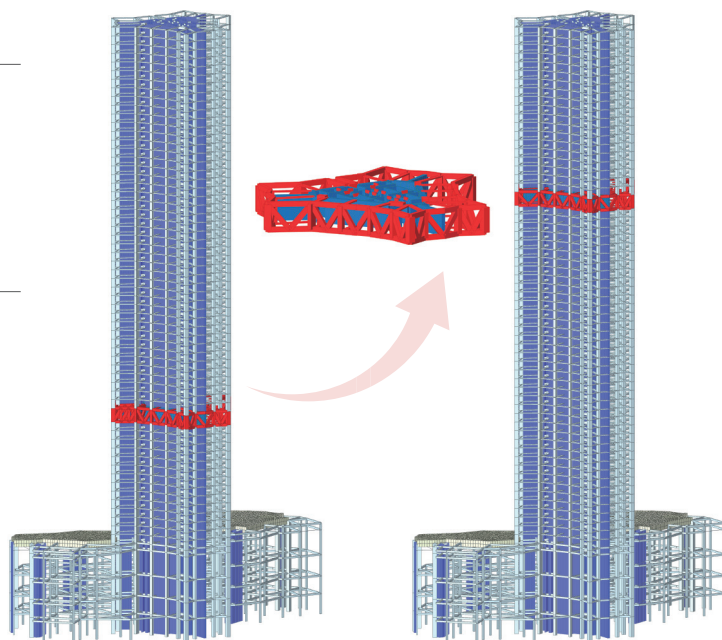
APIによる自動化ワークフロー

事例 ①:

ベルトトラス階の自動変更

－ プラグイン活用事例 －

指定した2つの階の要素を相互に入れ替え、
ベルトトラスの位置を自動的に再配置します。

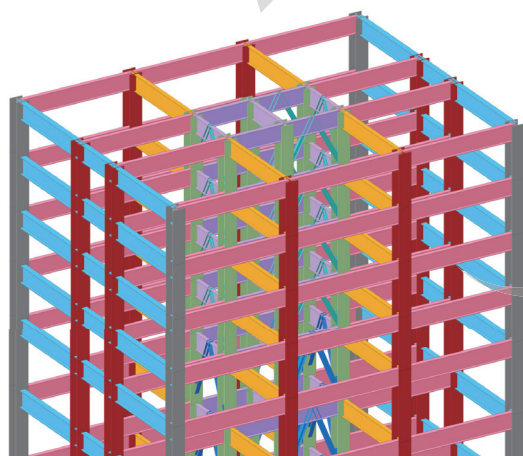


事例 ②:

鉄骨構造の自動設計

－ Python API活用事例 －

すべての部材の検定比が0.70～0.85の範囲に
収まるまで、断面を自動的に変更しながら
繰り返し計算を実行します。



Flexible Plug-in Integration

Plug-in 選択の自由。 あなたの業務スタイルへ。

業務の枠を超え、さらなる拡張性をご体感ください。

プラグインを自由に選択・組み合わせることで、より効率的な作業フローを構築できます。さらに、APIを活用すれば、ユーザー自身が独自のプラグインを開発・運用することも可能です。業務環境を柔軟に拡張し、エンジニアリングプロジェクトにおいて、より高い成果を実現するための新たなアプローチを提供します。

Marketplace



多様なプラグインを活用

Bookmark



お気に入りのPlug-inをブックマーク

My Plug-in



世界に1つだけのPlug-inを開発



Image Capture

保存されたグラフィック設定を呼び出し、解析結果を迅速にキャプチャできます。



Easy Result Table

Result Table 内のすべてのデータを、ワンクリックで出力可能です。



Seismic Hazard Map

地震ハザードマップを基に、地域別の有効地盤加速度を確認。敷地ごとの地震リスク評価に活用できます。



Element Information

部材を選択することで、詳細情報を迅速に確認・検討できます。



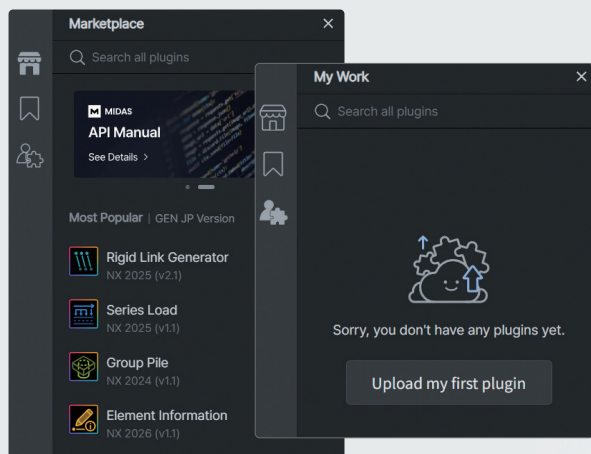
Floor Load Table Generator

直感的に荷重表を作成し、そのままGEN NXの床荷重へ反映可能。PDF出力にも対応しており、計算書へ即時活用できます。手作業によるミスを低減し、業務効率を向上させます。



Node Controller

節点テーブルへ移動することなく、画面上で直接節点座標を選択・修正可能。編集作業をより効率化します。



Marketplaceで、多様なプラグイン製品をご利用いただけます。



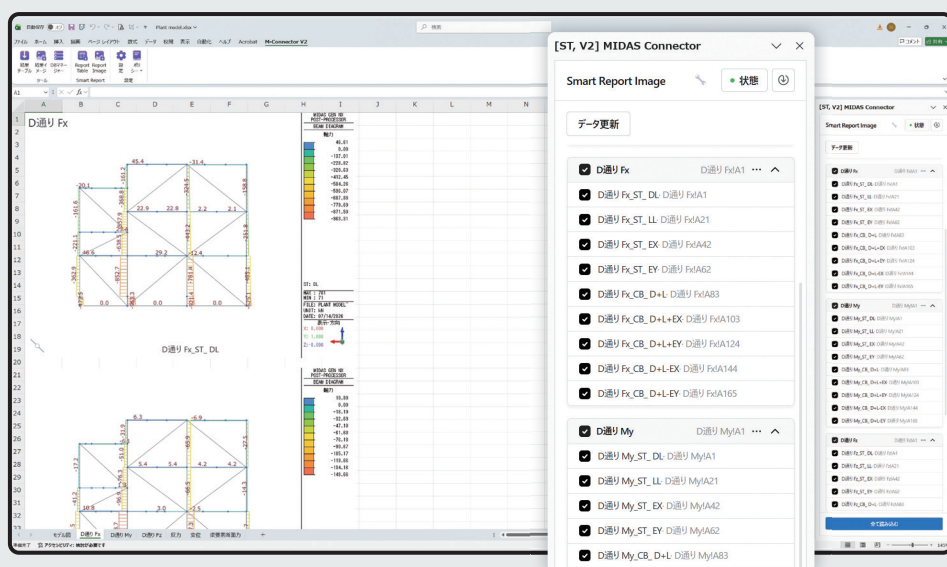
Excel Add-in 連携

テンプレートのように使える MIDAS Connector

お使いのExcelと接続

MIDAS GEN NXの高い連携性は、さまざまな計算書・データ環境において幅広く発揮されます。

これまで使用している既存のExcel計算書にMIDAS Connectorを組み込むことで、MIDAS GEN NXと容易にデータ連携が可能です。



コーディング不要のテンプレート活用

コーディングの知識がなくても、簡単なマウス操作だけでテンプレートを活用できます。



反復処理の自動化

アドインのスタック機能やフロー機能を活用して、繰り返し作業を自動化。



登録イメージ読み込み

変位図や応力図など、事前に登録したイメージを、ワンクリックでまとめて読み込みます。



登録テーブル読み込み

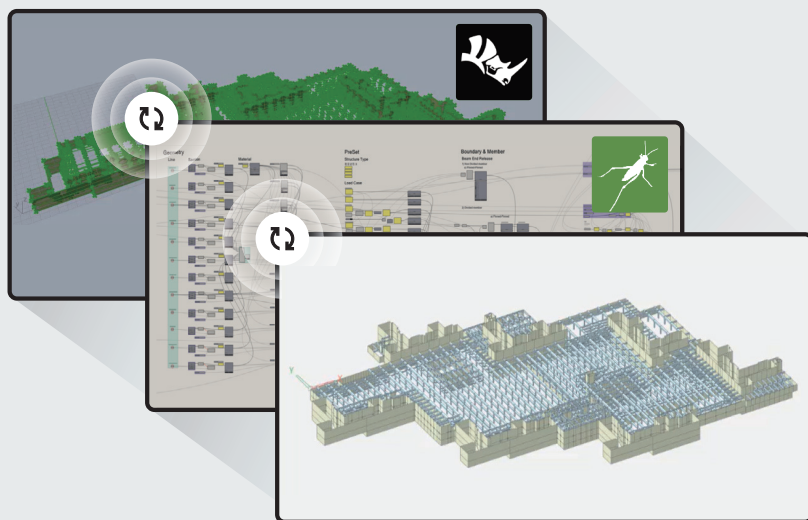
GEN NXで提供するすべてのテーブルを登録可能。ワンクリックでそれらを一括して読み込みます。

ビジュアルスクリプティングによるパラメトリックモデリング

Rhino & Grasshopperで 実現するビジュアル構造設計

Grasshopperと連携し、自動化されたモデリングを実現。

Grasshopperツールと接続することで、複雑形状のモデリングはもちろん、反復的なプロジェクトに適用するデータをMIDAS GEN NXと連携し、モデルの自動生成および変更内容の迅速な反映が可能です。



荷重 & 荷重組み合わせ 自動生成

荷重の変更・削除・適用位置などをGrasshopper上で直感的に編集可能。さらに、設計基準に基づく荷重組み合わせをエンジニア自身が直接生成できます。



モデリング 自動化

解析に必要な要素タイプに応じて、梁要素・板要素・ソリッド要素を自動生成可能です。生成された解析モデルを基にBIMモデルも同時に作成でき、ユーザー要件に応じたモデリングの自動生成および修正が可能です。



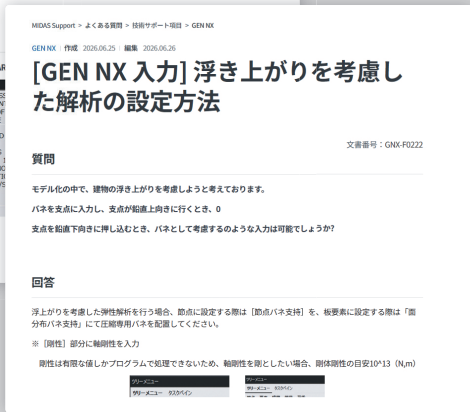
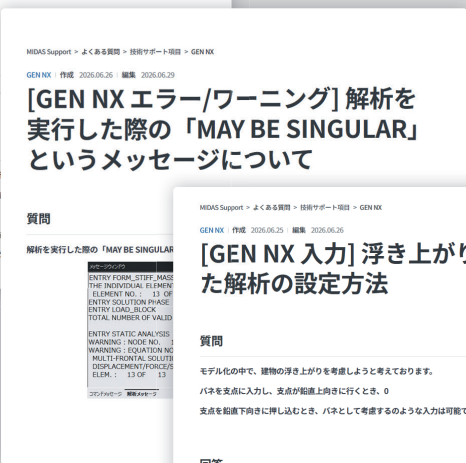
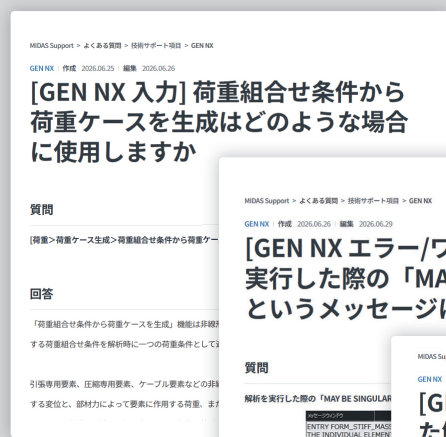
境界条件 自動生成

構造物に必要な境界条件の位置を修正したり、自由度(Degree of Freedom)条件を容易に変更できます。

見つけやすい情報、よりスムーズな操作

進化した検索機能で、 必要な情報へすばやくアクセス

MIDAS GEN NXに搭載された強力な検索機能をご活用ください。

機能検索、マニュアル、FAQなど、
プログラム利用に必要なあらゆる情報をMIDAS GEN NX内で完結できます。

いま、問いかけるだけで解決へ

MIDAS Pro

AI × GEN NX

≡ MIDAS Pro

Pro ☒

「剛体連結」と「弾性連結要素」の剛体の違いは？



こんにちは、MIDAS Pro です。
「剛体連結」と「弾性連結要素」の剛体の違いについて
ご説明します。

「剛体連結」は、構造物の2点を剛体のように接続し、
相対変形が生じないように拘束するリンク機能です。
「代表節点」と「従属節点」間の相対変位を完全に拘束し、
両者が同一の変形を示すようにします。
そのため、実質的に無限大に近い剛性を有する剛体として
扱われます。

一方、「弾性連結要素」の剛体は、「弾性連結要素」の内部に
非常に高い剛性値を設定することにより、
剛体挙動を近似的に再現するタイプです。

ただし…



構造エンジニアの問いに即座に応答
MIDASの次世代インタラクティブソリューション

Integrated Design System for Building and General Structures

株式会社マイダスイティジャパン 建築事業部
お問い合わせ www.midasuser.com/ja/support/ask

© 2026. MIDAS IT Co., Ltd. All rights reserved.

